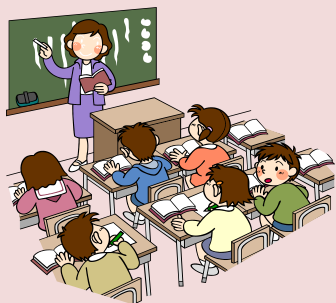


能勢高校ニュースレター 2014新春号



新年明けましておめでとうございます。
おだやかな初春をお迎えのこととお慶び申し上げます
能勢高校では、多くの皆さんに教育活動や能勢高生の活躍ぶりを知って
いただくため、学期ごとに「能勢高校ニュースレター特集号」を発行して
います。今回の新春号では、2学期の活動を中心に構成いたしました。
ぜひご覧ください。ホームページでも情報を発信しています。
<http://www.nose-highschool.ed.jp/>

能勢高生と過ごす収穫加工体験の秋、能勢の休日

大阪のてっぺん能勢高校農業クラブプロデュース！！

9月29日（日）本校農場で、京都新聞旅行センターとの共催による日帰りの観光ツアーを実施しました。天候にも恵まれて、京都からツアーに参加された20名のお客さんたちに、能勢高校生の案内による農場体験で、秋の一日を楽しく過ごしていただきました。今回のツアーは、2年連続で「全国高校生観光甲子園優秀賞」に輝いた「能勢観光プラン」を能勢町観光協会の支援により、商品化させたものです。

午前中は、校長先生と生徒代表のあいさつ、本校の紹介とツアー内容の説明に続き、栗拾い体験、焼き栗試食をしていただきました。午後は、黒米稲刈り体験、ポン菓子作り、羊毛加工体験、養蜂体験と、多様なメニューを楽しんでいただきました。

お客さんのほとんどは、高校生たちのさわやかな「おもてなし」の態度に感銘を受けられ、アンケートでは、「地元の高中生と触れ合うことができ、能勢町を一層身近に感じた。」「次回もこのような機会があればぜひ参加したい。」等のコメントもいただくなど、満足度がとても高かったことが伺えました。今回のツアーを通じ、生徒たちは、大きな自信と確かな充実感を得ることができました。さらには、能勢町の観光施策の推進につながる、大変有意義な取組みとなりました。



ツアーを担当した農業クラブ生徒



くり拾い体験



羊毛を利用したコースター作り体験



京黒米を用いたポン菓子作り体験



蜂の巣箱の観察体験



黒米の稲刈り体験

能勢町青少年町長表彰を受賞！



左から 山口町長 上坊さん
藤井さん 森田教育長

大阪府学校農業クラブ連盟大会意見発表会「環境」の部において最優秀となった上坊つかささんと、第48回大阪府立実業高等学校総合体育大会バドミントン競技シングルスで優勝した藤井美佳さん、2年次生のふたりが能勢町長賞を受賞することになりました。

山口町長からは、卒業まで、まだ1年以上あるので、より高い目標を掲げ、再度、町長表彰を受賞できるよう活動に励んでくださいと激励の言葉を送っていただきました。

能勢高校文化祭を開催！

9月28日（土）秋晴れのもと、地域の方々、小中学校、外部の連携団体、PTAや「能勢高校を応援する会」のご協力により、にぎやかな文化祭となりました。関係者の皆様に心からお礼申し上げます。能勢高生たちは、舞台や展示、模擬店等に大いに活躍しました。

今年のテーマは、体育祭と同じ「一勝懸命・一笑懸命」。小中高連携企画「折り鶴に思いを込めて」では、各小中学校に折り紙を配り、それぞれの思いを込め“一生懸命”折り鶴を折ってもらい、ボードに埋め込みました。「小中高一貫教育のまち“大阪のてっぺん能勢町”に能勢高あり」というメッセージが、きっと聞こえてきたことでしょう。



小中高連携企画

美術部がラジオ生放送に出演！

能勢電鉄100周年記念行事“アートライン”のイベントとして、本校美術部の生徒たちが、能勢電車をモチーフにした絵を描きました。現在、山下駅ホームの広告版に展示されています。

このことがラジオ関西「そとからラジオ」で取り上げられ、美術部の生徒たちは、10月23日（水）妙見口駅に入線している初代能勢電車のモニメント内のスタジオで、能勢電鉄の社員、地元商店の方々とともに25分間の生放送に出演しました。



連携中学2年生クラブ体験入学

10月18日（金）東中学校、西中学校の2年生全員の参加によるクラブ体験を行いました。体育館の開会式は、生徒会の進行で行われ、クラブ代表として野球部キャプテン西 勇人君が歓迎の言葉を述べ、能勢高校のクラブの状況や特徴、その良さを説明しました。続いて、各クラブ代表者の挨拶のあと、各部の部員の誘導で活動場所へ移動しました。中学生は、1時間ずつ2つのクラブを体験しました。中学生にとり、どのクラブも中学校では体験できない特色ある内容ばかりで、能勢高校の部活動を知るとともに、新たな発見となる貴重な体験となりました。



第50回能勢高原マラソン記念大会で農産物を販売！

10月21日（日） 本校をスタート・ゴール地点として第50回能勢高原マラソン（能勢町体育連盟と豊能地域生涯スポーツ推進協議会の主催）が開催されました。今回は、第50回の記念大会ということで、生徒たちが、能勢特産の銀寄栗、古代米（紫黒米）、ブドウなど、本校農場での生産物を販売しました。また、能勢高校を応援する会の皆さんに、ポップコーン、餅やサトイモなどの野菜を販売していただくなど、本校のPRにご尽力くださいました。



ユネスコ アジア太平洋地域高校生ESDフォーラム参加！

11月2日（土）、3日（日）4日（月）の3日間の日程で、堺市産業振興センターにて「ユネスコアジア太平洋地域高校生ESDフォーラム」が開催されました。本校ユネスコクラブの2年生3名と1年生4名は、この半年間、各係班に分かれて他校の生徒たちと協力してフォーラムの準備を進めてきました。ディスカッションのスムーズな進行はもちろん、受付・案内・世話係の働き、さらには気配りの行きとどいた場内の装飾に至るまで、海外から参加した韓国・フィリピン・中国・インドネシア・ベトナム・ラオス・タイの高校生や付き添いの先生方に、たいへん満足していただくことができました。



「からくり丼」が道の駅能勢のレストランでメニュー化！



能勢町特産品の「銀寄（ぎんよせ）栗」を広めるために、栗をから揚げし、酢豚風に仕立て、能勢高校農場特産の古代米（紫黒米）をご飯に加えた「からくり丼」は、彩りが鮮やかでさっぱりとした風味が特徴のとてもおいしい作品となりました。能勢町観光物産センター（道の駅能勢）にメニュー化を企画提案したところ、10月23日から1日10食限りの限定メニューとして販売していただきました。

能勢地域小中高一貫教育・連携型中高一貫教育 第11回研究発表会に参加！

11月20日（水） 能勢町立西中学校を会場として、第11回目となる「能勢地域小中高一貫教育・



連携型中高一貫教育研究発表会」が開催されました。本校生20名は、「能勢高ナビゲーション」として、中学1年生（2クラス）に対し、学習やクラブ活動などについてのアドバイスを含めた授業（写真）を行いました。さらに、「NS（能勢スペシャル）授業」では、本校数学科教員2名が、中学2年生（2クラス）に対し、高校での学習への接続を視野に入れた発展的な内容の授業を行いました。詳しくは本校ホームページをご覧ください。

能勢高校を応援する会“町ぐるみ応援団” 第4回総会に参加！

8月25日(日) 能勢高校を応援する会“町ぐるみ応援団”第4回総会が、総勢130名の参加のもと、能勢町浄るりシアターで開催されました。本校からは、農業クラブ員が2年連続での全国高校生観光甲子園優秀賞受賞プランをもとにした「能勢観光プラン」についての発表を行いました。(写真)



さらに、前島根県教育委員会教育長の藤原義光さん(写真)を講師に招き、「教育と地域振興の二兎を追う」というテーマで講演会を行いました。詳しくは、能勢高校を応援する会ホームページで。

がんばっているクラブの紹介 シリーズ4 軽音楽部



1年生8名、2年生8名、3年生4名で活動しています。今年度は校内での活動のほかに、「能勢文化フェスティバル」をはじめ、さまざまな地域の行事に参加させていただきました。

多くのパフォーマンスの機会をいただき、本当にありがとうございます。これからも、みんなで元気になれるように練習を重ね、精一杯活動していくつもりです。応援よろしくお願ひします。

「がんばれ能勢高生！」～先輩からのエール～



高校時代、生徒会長をし、農業クラブやユネスコクラブなど様々な活動にも参加しました。大学では、大阪の地域を取り上げて「外国人向けの一日の観光ツアー」を企画する「まちづくりコンテスト2013」に参加し、能勢町を取り上げた企画内容により入賞し、「大阪府知事賞」を頂きました。これもひとえに、能勢高校での経験のおかげです。高校の先生方の言葉や関わりは、卒業後も力になります。先生に頼って努力した結果、今の楽しい大学生活に繋がりました！皆さんも騙されたと思って先生を頼り、少し頑張ってみてください。皆さんの幸せな将来に繋がりますように！

平成23年卒 57期生 松田桃子さん
和歌山大学 観光学部 観光経営学科3回生 観光デザインゼミナール所属



平成22年卒 56期生 吉田了さん
能勢電鉄 運転課所属

能勢高校での3年間でいろいろなことを学びました。少人数制であるので、先生との距離が近く、進路のことや学校生活について相談しやすい環境でした。また様々なイベントを通じて学年の壁を感じることなく、交流できる点も能勢高校の良いところだと思います。放課後の就職説明会など先生方の熱心なご指導のおかげで、希望する仕事に就くことができました。現在は、能勢電鉄で、駅業務や車掌の仕事をしながら、運転士になるための勉強をしています。能勢高校で様々なことを学んだおかげで、今、頑張っています。

能勢高校の生徒の皆さんも、1日1日を一生懸命に過ごし楽しむことで、自分のしたいことを見つけてください。